

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月26日更新

事務事業名		財政計画進管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	総務部	課長名	坂井 竹志
	施策	3	財政の健全化		所属課	財政課	担当者名	安武 栄一
	施策の柱	13	財政事務の適正な執行		所属班	財政班	(内線)	1233
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	8年ごとに策定する市の最上位計画である合志市総合計画に合わせて作成する中長期財政計画を策定し、財政計画に合わせて予算編成を管理していく事業である。 財政状況の大幅な変動により財政計画の見直しを行っていく。
【業務の流れ】	【進管理事務】①普通建設事業等中長期計画調査(6月)→②財政計画の比較及び要因分析(9月)→③再将来予測(10月)→④次年度予算編成の基礎資料として活用(11月)→⑤当初予算編成(11月~1月)→⑥当初予算と財政計画の比較(2月) ※計画全体の見直しは行われず、複数年ごとに行なう。
【主な予算費目】	予算なし
【意見や要望】	議会では、市債・地方交付税についての現状や見通し、また、財政計画などについて質問が行われている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	平成30年3月に策定した財政計画の基礎資料のひとつである普通建設事業等中長期計画の進捗管理を行った。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 普通建設事業等中長期計画の進捗管理及び補正予算編成、新年度予算編成を財政計画との整合性を図りながら財政運営を行う。次期財政計画策定に向けて各課へ普通建設事業費等中長期計画の調査・ヒアリングを行なっていく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日	予算の主な増減の理由
→ア:進管理(計画修正)に伴う調査分析日数	日	予算計上なし
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	歳出予算額	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 百万円
		→ア:財政計画予算規模
		イ:当該年度歳出決算額
		百万円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	財政計画に沿った適正な予算編成の進管理を行う。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ア:当該年度歳出決算額/財政計画予算規模(7.5未満75%以内)
		イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
財政計画に沿った健全な財政運営を進める必要があるため、財政計画において予定した歳出規模に対する当該年度の歳出決算額の割合をプラスマイナス5%以内とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
①活動指標	ア	日	40	40	60	60	95	130	60	60	
②対象指標	ア	百万円	26,221	26,397	21,704	21,704	22,102	22,297	22,799	23,135	
	イ	百万円	25,999	35,305	21,704	26,822	22,102	22,297	22,799	23,135	
③成果指標	ア	%	99.1	133.7	100	123.6	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	3	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	250	220	250	220	450	800	300	400
(B)人件費計	千円	990	867	996	860	1,792	3,187	1,195	1,593		
トータルコスト(A)+(B)	千円	990	867	996	860	1,792	3,187	1,195	1,593		

事務事業名	財政計画進行管理事業	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 見直した財政計画に基づき、予算編成の管理を行いながら、目標を達成する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 財政計画に沿った適切な行政評価（新規・拡充事業2次評価）を行うことで、成果向上に結びつく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 財政計画の進行管理は、自治基本条例にも定めている行政評価に基づいて実施しており、類似事業や連携などはない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は発生しないため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務事業を行うための必要な延べ時間であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事務は市の財政運営にかかるもので、特定の受益者はおらず、全市民に関わるものであるため、受益機会・費用負担は適正であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 この事務は市の財政運営の根幹にかかるもので、地域住民や民間には移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

財政計画及び普通建設事業費等中長期計画の進捗管理を行った

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p><b>【有効性改善】</b> 財政計画に沿った適切な行政評価 (新規・拡充事業2次評価) を行うことで、成果向上に結びつく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						